

会津若松市住生活基本計画策定支援業務委託プロポーザル評価基準

(令和8年4月8日決裁)

1 位置づけ

この基準は、会津若松市住生活基本計画策定支援業務委託プロポーザル選考委員会が会津若松市住生活基本計画策定支援業務委託の受託候補者を選定するための評価の基準等について示すものである。

2 評価方法及び受託候補者の選定

受託候補者の選定は、企画提案書やヒアリングの内容を踏まえ、別表「評価基準表」に基づく選考委員会の各委員の採点により、次の選定順に従い順次選定する。ただし、採点した委員の平均得点が6割（120点）に満たない場合は、不適格とみなして受託候補者としなないものとする。

<選定順>

ア 過半数を超える委員から最高順位を得た者

イ アにより決しない場合、全委員の合計得点が最高得点者

ウ 最高得点者が複数ある場合は、別表「評価基準表【②企画提案】」(3)(4)に係る項目の評価点が最も高い者

エ ウが複数ある場合は、提案金額の最も安価な者

3 評価点

採点に当たっては、「評価基準表」に定める各項目の着眼点を踏まえ、下表に定める5段階の評価を行い、それぞれの区分に応じた評価点を算出するものとする。なお、評価基準表中「(1)企業実績に関する評価」及び「(2)実務体制に関する評価」の各項目において、評価A～Eに該当しないものは、評点無しとする。

評価	評点		
	配点5点の場合	配点10点の場合	配点20点の場合
A	5	10	20
B	4	8	16
C	3	6	12
D	2	4	8
E	1	2	4

4 留意点

評価は、プレゼンテーションにおける説明技術によらず、提案内容等の優劣をもって評価するものとする。

別表

評価基準表【①技術】

評価項目		評価の着眼点	評価および評点					
			A	B	C	D	E	
(1) 企業実績に関する評価	住生活基本計画策定支援業務の実績	過去10年間に策定支援業務の実績があるか	5件以上ある	4件以上ある	3件以上ある	2件以上ある	1件以上ある	
			20	16	12	8	4	
配点小計			20					
(2) 実務体制に関する評価	管理技術者	資格要件	技術士（総合技術監理部門）	技術士（建設部門：都市及び地方計画）	RCCM（都市計画及び地方計画）	/	/	
			10	8	6			
		専門技術力	都市計画部門の従事期間について	10年以上	/	5年以上10年未満	/	1年以上5年未満
				5		3		1
			過去10年間に住生活基本計画等の策定支援業務について実績がある	住生活基本計画が3件以上ある	住生活基本計画が2件以上ある	住生活基本計画が1件以上ある	公営住宅等長寿命化計画、空家等対策計画がある	類似する計画の実績がある
				10	8	6	4	2
	主たる担当技術者	資格要件	技術士（総合技術監理部門）	技術士（建設部門：都市及び地方計画）	RCCM（都市計画及び地方計画）	/	/	
			10	8	6			
		専門技術力	都市計画部門の従事期間について	10年以上	/	5年以上10年未満	/	1年以上5年未満
				5		3		1
			過去10年間に住生活基本計画等の策定支援業務について実績がある	住生活基本計画が3件以上ある	住生活基本計画が2件以上ある	住生活基本計画が1件以上ある	公営住宅等長寿命化計画、空家等対策計画の実績がある	類似する計画の実績がある
				10	8	6	4	2
配点小計			50					

評価基準表【②企画提案】

評価項目		評価の着眼点	評価および評点				
			A	B	C	D	E
(3) 基本的な方針等に関する評価	市の視点・方向性及び業務内容の理解度	「会津若松市住生活基本計画策定の視点・方向性」の背景・意図を正確に読み取っているか	極めて的確に理解している	的確に理解している	理解している	どちらともいえない	あまり理解していない
			10	8	6	4	2
	実施方針の的確性	本市の現況、上位計画、関連施策、業務委託条件を正確に整理し、本業務の目的を適切に捉えているか	極めて的確に理解している	的確に理解している	理解している	どちらともいえない	あまり理解していない
			5	4	3	2	1
	実施フロー、工程計画の的確性	本業務の目的達成に向けた基本的な考え方が明確であり、分析手法・検討手順等、進め方が論理的に構成されているか	極めて妥当性が高い	妥当性が高い	妥当性がある	どちらともいえない	あまり妥当性がない
			10	8	6	4	2
実施フロー、工程計画の的確性	作業スケジュールや策定プロセスなどの工程計画が的確であり、確実な業務の遂行が見込まれるか	極めて的確である	的確である	一部の確である	どちらともいえない	あまり的確でない	
		10	8	6	4	2	
配点小計			35				
(4) 企画提案内容に関する評価	市民意見の聴取・把握方法	的確な手法の選択により多様な市民の意見を聴取・把握し、計画に反映できるか	非常に優れている	優れている	概ね妥当である	どちらともいえない	あまり妥当性がない
			20	16	12	8	4
	現状分析の論理性	本市の住宅・住環境を取り巻く課題を把握し、論理的に整理しているか	極めて的確に把握している	的確に把握している	把握している	どちらともいえない	あまり把握していない
			20	16	12	8	4

	施策提案の着眼点	課題解決に向けた着眼点があるか	十分着眼点がある	着眼点がある	一部着眼点がある	どちらともいえない	あまり把握していない
			20	16	12	8	4
	市独自性	会津若松市らしさの着眼点があるか	十分着眼点がある	着眼点がある	一部着眼点がある	どちらともいえない	あまり把握していない
			20	16	12	8	4
	提案全体の構想力、実現性	企画提案全体として構想及び論理構成に一貫性・整合性があり、提案内容が実現性の高いものであるか	非常に優れている	優れている	概ね妥当である	どちらともいえない	あまり妥当性がない
			10	8	6	4	2
配点小計			90				
(5) 金額に関する評価	提案金額		$5 \times \frac{\text{(応募者中の最低の提案金額)}}{\text{(応募者の提案金額)}}$				
配点小計			5				